

奥多摩・金袋山山行報告

【山城】奥多摩・金袋山

【日程と天気】2017年11月12日（日）晴れ

【メンバー】CL室（昌）・大木・上茂・清野・加藤・吉瀬・菊池（記）

【行程】新宿7:44ーホリデー快速おくたまー9:17奥多摩9:35ーバスー東日原ー石山神社登山口 11:02ー石山ー12:25金袋山のミズナラ・巨樹ー12:46人形山ー13:15金袋山ー往路を下山ー14:56一石山神社ー帰葉



- ・11月に入ると、旬の紅葉ハイクを楽しむエリアは次第に低山になってくる。今年の秋は10月中旬以降、毎週のように、週末は雨模様となり山行が中止となりフラストレーションが溜まっていたが、11月に入ると漸く週末が晴れベースとなりハイキングを楽しむことができる。小生は前週、富士山の西の天子山塊の毛無山と和製グランドキャニオンから小富士の標高2000m前後のハイキングを計画したが、今週はもう少し標高を下げ標高1500m以下の奥多摩が紅葉ハイクの対象となった。
- ・CLが以前から気になっていたという「ウトウの頭」の公募がMLに流れたが、耳慣れない奇異な感じのする地名に面食らった。ネットで報告を調べてみると、面白そうなルートであり、参加希望の意志を伝えた。参加メンバーは、小生以外は全て元気な女性陣、

「ウトウの頭」までの往復はかなり時間がかかりそうで、下りで道迷いが発生しやすいとのことであるため、CLと相談し一時は車で行くことも考えたが、登山口での駐車場と紅葉シーズンの奥多摩の道路渋滞を考えると、スタートが遅くなってもホリデー快速を利用してゆっくりスタートし、行けるところまでということに決定した。

- ・奥多摩駅 9:35 発のバスは、土日は東日原までしか行かない。その先の一石山神社（登山口）のある日原鍾乳洞までは道路が狭く、平日は鍾乳洞までバスが入る。約 2 kmの道路を登山口に向かうが、紅葉した奥多摩の山々が迫る道路は苦にならない。迫力の稲村岩（道路脇の左に稲村岩を巻いて鷹巣山に向かう登山道がある）をバックに記念写真を撮った。



- ・標高 640mの登山口（一石山神社）から岩壁の燕岩を右手に一気に急登で標高を上げる。標高 1007m（一石山）の手前で尾根に乗り上げるが、それまでは急登の連続、上部に行くと日当たりが良くなり紅葉が素晴らしい。ミズナラの巨木「金袋山のミズナラ」は標高 1176mの人形山の少し手前にあるが登山道ははっきりせず、枯れ葉で覆われているところが多い。GPSにルートを設定して来たが、目を凝らしてテープを捜しながら進んだ。



進行方向の左側は杉林が多いが右側は広葉樹林の紅葉が素晴らしい。特に、ミズナラの巨木の小さな看板のある所から右方向にトラバース気味に枯れ葉の中の踏み跡を辿って行くあたりは、多彩な紅葉の間から青空が素敵なビューポイントであった。もう一つのミズナラの巨木の方向を示す小さな看板の指す方向に少し登り上げるとありました。



まさに巨樹・巨木のパワースポットです。記念写真を数枚撮影しながら小休憩した。



さてこの先真つすぐの方向は枯れ葉の吹き溜まりでルートが分からない。右手の尾根状方向に目をやると、テープを確認でき、小さな尾根に乗り進んで行くと上部から7~8名のパーティが下ってきた。間もなく平坦なところになり、多分人形山であろうと看板を捜すとありました。横が



15 cmほどのごく小さな看板を発見
できました。ネットで調べた報告
ではミズナラの巨木の先を真っす
ぐに進んだようで、人形山(看板)
を発見できなかったようである。
人形山から少し下り、テープを捜
しながら右手方向のアセビの木々
の中を進み、岩のある細尾根状の
ところを進む、13:00 金袋山(1325
m)に到着した。今回の到達時間



を 13 : 00 と定めていたため、ここで記念撮影と休憩を取り下山とした。

この先のタワ尾根を進むと 1456mのすず坂の丸、1588mのウトウの頭であるが時間切れ、
またのチャンスを期待しよう。

金袋山では数パーティが休憩しており、我々の一時間前のバスに乗車したという 5~6 名
のパーティが下山するところであり、そのパーティを下山途中で追い抜いてしまった。



今回は元気な
ちば山女性陣
であったが、小
生もトレーニ
ングと考えか
かなりのペース
での山行を行
ったと言える。

人形山手前から「ミズナラの巨木」には往路を離れてショート
カットして巨木に向かったが落ち葉が吹き溜まる場所であ
り深い下りラッセルであった。



梵天岩



一石山神社

下りで迷ったという報告を複数見たため、慎重にルートを予習、GPSにもセットし、メ

